

平成29年度第1回富里市総合教育会議議事録

日 時 平成29年12月20日（水）
午後1時00分～午後1時35分
場 所 市役所本庁舎3階 第3会議室

1 開 会

（総務部長）

定刻となりましたので、これより平成29年度第1回富里市総合教育会議を開催させていただきます。本日、進行を務めさせていただきます総務部総務部長の加藤でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、本日の会議につきましては、お手元にお配りしてございます次第に基づきまして進めさせていただきたいと思っております。

では、相川市長に御挨拶いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

2 あいさつ

（市長）

師走で忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。委員の皆様方には常日頃より教育に関して色々ご配慮いただいておりますことをこの場を借りて御礼申し上げます。

本日の協議事項は、「教職員の勤務状況等について」「いじめ問題について」「ジョイント・スクール推進事業検証委員会報告について」となっておりますので、これらの事項について御説明をいただき、意見の交換をしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

（総務部長）

相川市長ありがとうございます。続きまして、國本教育長より御挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

（教育長）

本日は、平成29年度になり最初の総合教育会議を開催していただき、誠にありがとうございます。田口明教育委員が新たにメンバーとなり開催されることとなりましたのでよろしくお願いいたします。本日は先ほど市長からもお話ありましたとおり、3つの協議事項につきまして私や担当者からそれぞれ説明させていただきます。ご不明な点等がございましたら御指摘くださるようよろしくお願いいたします。

(総務部長)

教育長ありがとうございました。それでは、議事に移りたいと思います。

議事の進行につきましては、富里市総合教育会議設置要綱第4条により、会議は市長が招集し会議の議長となるとなっておりますので市長にお願いします。

3 協議事項

(市長)

それでは、早速ですが協議事項に入らせていただきます。

まず協議事項(1)教職員の勤務状況等について説明をお願いします。

(教育長)

それでは、教職員の勤務状況等についてでございますが、富里市の教職員の勤務状況調査結果から報告させていただきます。

資料1を御覧ください。文部科学省が実施しました「平成28年度教員勤務状況調査」の調査結果によりますと、1日平均の教員の勤務時間は11時間15分となっております。教員の勤務時間が7時間45分となっておりますので、1日あたり3時間30分の超過勤務となっております。これを1ヶ月あたりで見ると、1ヶ月の勤務日数は約22日ですので1ヶ月の超過勤務時間は77時間となり、これは過労死ラインといわれている80時間とほぼ同等であり、憂慮する事態であると考えられます。

本市の教職員の勤務状況については、5月に特定の1週間を調査期間として設定し、市内の小中学校の教職員を対象に勤務時間の調査をしました。調査結果は表のとおりになっております。特に表の中央にありますように、1日あたりの超過勤務の時間が平均3時間5分となっております。1ヶ月は約22日間の勤務になることから、1ヶ月の超過勤務の平均時間は約68時間で、国よりも少ない数値となっております。

しかし、表のように土日の部活動等の出勤時間が平均1時間50分であることから、1ヶ月間に土日が8日間あったとすると約14時間が加算されますので超過勤務時間数が80時間を超えることになり、本市も国と同じような状況であるといえ、教員の多忙化解消は喫緊の課題となっております。

富里市の教職員の勤務状況調査結果については以上でございます。

次に、多忙化解消に向けた取り組みについてでございますが、教育委員会としましては学校における多忙化解消に向けて次の取り組みを行っております。

1つ目は、校長会議や教頭会議において、管理職に対して教職員の出退勤時刻の記録を行い、労務管理をするように指示しております。

記録の仕方につきましては、週案や出勤簿に直接書いたり、パソコンに入力

したりする等しております。しかしながら、こうした記録を集計し労務管理に活用するために相当な業務時間を要しており、この作業自体が多忙化を招くことから、来年度各学校にタイムレコーダを設置できるよう予算要求しているところでございます。

2つ目は、教職員の夏季休暇・年次休暇の取得が促進されるように取り組んでおります。特に、勤務すべき日数が減るように、県民の日やお盆の時期に学校を閉庁するとともに冬季休業中も年末年始の休日に加え閉庁日を新たに1日定めたところでございます。

3つ目は、調査内容の作業の軽減です。毎年、国や県から膨大な量の調査が求められます。学校の負担が少しでも減るように、市教委で調査回答ができるところはできる限り市教委で請け負い、学校でなければ回答できない点についてのみ回答を依頼するようにし、学校への負担軽減を図っています。

4つ目は、会議・研修会の効率的な実施です。教員を集める会議や研修会の回数を増やすことは多忙化を加速することにもつながります。かといって減らすことによって必要な話し合いや研修の機会がなくなることは子どもにとってマイナスの結果となります。そこで、複数の会議を抱き合わせることで見直しを図り、回数が実質的に減るようにしております。

5つ目は、市費負担の非常勤職員の配置でございます。特別の支援を要する児童生徒への支援として個別指導補助員を、児童生徒の読書推進への支援として学校図書館司書を、英語学習の補助として日本人英語講師やALTを配置し、教職員の業務負担が少しでも軽くなるように支援をしております。また、各小・中学校においても、多忙化解消に向けた取組を行っております。例えば、ノー残業デーの促進や早朝・夜間の電話対応の中止、事務業務の電子化、各種行事の見直し、会議の精選等を行う等して、教職員一人一人が早く退勤できるように取り組んでおります。教職員の多忙化解消に向けた取り組みについては以上でございます。

(市長)

どうもありがとうございます。教職員が非常に忙しいというのは、今「新聞」「テレビ」等でも色々言われていることではございますが、今色んな点で取り組んでいるという説明がありました。今後も教育現場の先生方には、子供たちと向かい合う時間を大切にしていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。この件に関して何か意見があればお願ひします。

特に無いようですので、協議事項(2)いじめ問題についてに移りたいと思ひます。それでは説明の方をお願ひします。

(教育長)

いじめ問題についてでございますが、富里市いじめ問題対策連絡協議会の状況について報告させていただきます。

資料の2-1をご覧ください。昨年度の富里市議会において、富里市いじめ問題対策連絡協議会及び富里市いじめ問題調査委員会に関する条例が可決されました。それに伴い、今年度、当連絡協議会と当調査委員会を立ち上げることになりました。このことについての現時点の状況について報告いたします。

まず、いじめ問題対策連絡協議会の実施内容について説明させていただきます。当連絡協議会は8月29日にすこやかセンター2階会議室を会場に開催しました。今回の連絡協議会が初回でしたので、委員の皆様のご自己紹介から始めました。委嘱をしました委員については9名です。氏名については資料「富里市いじめ問題対策連絡協議会委員名簿」を御確認ください。次に、連絡協議会の条例及び要綱を説明した後、会長を選出したところ、教育長であるわたくし、國本に決定しました。その後、議事に移り、会長として進行をさせていただきます。

主な議事は3つありました。1つめの議事は「富里市におけるいじめ防止対策」でした。学校教育課の担当指導主事から教育委員会として各学校のいじめ防止対策に向けて、どのような支援をしているか説明がありました。年間3回のいじめ状況調査を行い、1件ごとにいじめの状況をヒアリングして教育委員会として状況調査に努めていることや、各校の生徒指導会議に指導主事が出席して、タイムリーにいじめの対応について適宜指導していることについて具体的な説明がありました。

次に、委員である七栄小学校の山本委員と富里中学校の松本委員から、定期的にいじめのアンケートを実施し、その内容をもとに教育相談を行っているといった小・中学校での具体的ないじめ防止の取り組みについて説明がありました。

また、人権擁護委員である林田委員から、毎年小学校で行っている人権教室の内容について説明があり、その後、協議に移りました。

協議の中では、いじめアンケートの手法について委員から質問が出されたことに対し、小学校では1年生だと文章で書けないので選択肢から選び、6年生では文章で表現させるようにしているという、具体的な現場の取り組み事例を聴くことにより協議を深めることができました。

2つめの議事は「富里市小・中学校のいじめの現状について」でした。今年

度4月から7月期におけるいじめの状況について担当指導主事から報告がありました。いじめの認知件数は小・中学校合わせて29件で、現時点で解消に向けて取組中の件数は1件であり、それ以外は現時点で全て解消しているという説明がありました。

3つめの議事は「いじめの防止に向けた関係機関とのネットワークづくりについて」でした。ここでは、学校外の各関係機関の委員からいじめに関して所掌している内容について情報提供していただきました。成田警察署生活安全課や北総地区少年センター、中央児童相談所からは、現時点でいじめに関する相談はほとんどないものの、心配なことについては些細なことでも相談してほしいという要望がありました。また、子育て支援課では、家庭児童相談の窓口や電話対応の中で、いじめの相談があれば保護者の了解を得た上で学校に情報提供するようにしているとの説明がありました。第1回の連絡協議会はこのように滞りなく終了しました。第2回目は来年2月頃に実施する予定にしております。

富里市いじめ問題連絡協議会の状況につきましては以上でございます。

続きまして、いじめ問題調査委員会の状況について報告させていただきます。資料の2-2をご覧ください。現在の状況でございますが調査委員6名の選出が終わり、12月1日付で委嘱をしております。調査委員は資料にあるとおりですが、弁護士・精神科医師・臨床発達心理士・大学教授・大学の非常勤講師・スクールソーシャルワーカーといったように、条例に基づき法律や医療、心理、教育、福祉といった様々な分野から選出した委員を委嘱しております。当調査委員会は来年1月に開催を予定しており、その中で委員長を決定する予定でございます。今後につきましては、情報交換ということで特別のことは無くとも年1回は開催してまいりたいと考えております。

いじめ問題については以上でございます。よろしく申し上げます。

(市長)

ありがとうございました。

ただ今いじめ問題について説明をいただきました。あらゆる体制を整えて対応していただきたいと思います。また、説明にもありましたとおり成田警察署をはじめ、子育て支援課との連携など、幅広く子供たちから発せられるサインを察知して未然の防止に努めていただきたいと思います。思っております。

わたしといたしましても、教育に関する問題、課題の解決をお願いしているところでございますが、重大問題発生時には迅速に丁寧に対応していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは皆様から何か意見がありましたらお願いします。

(教育長)

先ほども申しあげましたが、教育委員会も小・中学校もいじめの問題につきまして、それぞれ学校における最重要事項として取り組んでおります。

今後も、現在深刻な状況のものはございませんけども、いじめというものは必ずあるものである、あるいは起きるものであるという認識の下で危機感を持ってこのことについては引き続き取り組んでまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(市長)

いじめ問題対策連絡協議会委員名簿について富里南小学校と富里南中学校から委員になっていないようですが。

(教育長)

市内の全小・中学校の教職員の中から、選出区分毎に「いじめ問題について指導的な立場にある校長や教諭」をそれぞれ選んだ結果であり、意図的に富里南中学校区から選出しなかったわけではございません。

(市長)

わかりました。他に意見はございませんか。

意見は無いようですので、引き続きいじめ問題については敏感な対応をお願いしたいと思います。

続きまして、協議事項(3)ジョイント・スクール推進事業検証委員会報告について説明をお願いします。

(教育長)

ジョイント・スクール推進事業検証委員会報告についてでございますが、資料3を御覧ください。ジョイント・スクール推進事業は、中学校の不適應生徒の現状を解消するとともに、児童生徒の学びと成長・発達の連続性を保障し、「生きる力」の育成を図ることを目的として、平成26年度からスタートし、4年目を迎えております。

昨年度、国の研究指定が終了したことから富里市ジョイント・スクール推進事業検証委員会を立ち上げ、本推進事業を検証することとしました。富里市ジョイント・スクール推進事業検証委員会において検証しました、成果と課題に

ついて、まだ案ではございますが学校教育課古谷主幹より報告させていただきますのでよろしく申し上げます。

(学校教育課古谷主幹)

学校教育課古谷でございます。検証による成果と課題の詳細について説明させていただきます。

資料3の1ページをご覧ください。ジョイント・スクール推進事業は、各中学校長を学園長として組織的に進めているところでございます。

資料の2ページを御覧ください。本推進事業の期待する成果は、「中1ギャップの解消」、「学力の向上」、「人間関係力の育成」の3つであります。検証委員会では、この3つの期待する成果について客観的なデータや具体的な学校の状況をもとにしながら検証してまいりました。

1つ目の「中1ギャップの解消」についてでございますが、中1ギャップとは、小学生が中学生になったときに、学校生活や授業のやり方が今までと異なることから、新しい環境になじめず、不登校等の学校不適應の状況を指します。

資料にありますように、中1ギャップの解消については小6から中1への不登校率と意識調査を基に検証いたしました。まず不登校についてですが、平成25年度、26年度卒業の小6児童は中1になり不登校者数が少なくなっております。全国的には小6から中1に進学すると2.7倍の増加になっておりますので、大きな成果と言えます。平成27年度卒業の小6児童は増加に転じましたが、国の割合よりは低い増加になっております。

資料の3ページを御覧ください。小中接続に係る意識調査の結果を掲載してあります。「学校が楽しい」と答えている割合が小6のときと中1のときではそれほど変化はございません。これらのことから、不登校者数の減少や「学校が楽しい」と考える子どもの割合が多く、中1ギャップの解消が図られつつあるという成果がうかがえます。

また、課題としては、不登校の未然防止や早期対応への取組を各学園の教職員一人一人が十分に共通理解をした上で、さらに深化させていくことが必要だと考えております。

次に、資料の4ページと5ページを御覧ください。

2つ目の「学力の向上」についてでございますが、学力については小6と中3に実施している全国学力・学習状況調査と先ほどの意識調査をもとに検証しております。まず学力調査の結果を見ますと、残念ながら学力としては十分に身につけていないところがございます。

資料の6ページをご覧ください。しかしながら、学習への関心等意識は高く、

小6から中1に進学すると学習内容が難しくなるにもかかわらず、「授業に主体的に取り組んでいる」の割合が高くなっております。これらのことから、学習に向かう意識はあるものの、点数には表れてこないことがわかります。今後は「授業がわかる」の割合が増えるように、学力向上に向けた取り組みや指導方法の研修を深めていく必要があると考えております。

資料の7ページを御覧ください。3つ目の「人間関係力の育成」についてでございますが、いじめ状況調査と意識調査をもとに検証しました。平成27年度の小6と平成28年度の中1のいじめの件数の増減ですが2件減少となっております。また、意識調査では「みんなで何かするのは楽しい」と答えた割合が6割を超えておりました。これらのことから、中学に進学しても比較的円滑な人間関係が保てており、小6と中学生が触れ合う小中交流事業の成果の一つであるといえます。

資料の8ページを御覧ください。今後は中学に進学する際に個々の児童に関して密に情報交換する機会をもち、さらに小・中学校で指導の継続を図っていく必要があります。特に、特別な支援を要する児童や不登校の傾向にある児童については、児童個々に作成した指導記録等のシートを中学校に確実に引き継いでいくようにしていく必要があります。

検証委員会での成果と課題の報告の案につきましては以上でございます。

(教育長)

ただ今、検証委員会での成果と課題の報告の案について説明をさせていただきました。こうした課題を受けて、現時点で講じることができる改善策としましては、次の3点を考えております。

まず、1点目として、各学園ごとに「目指す児童像・教職員像」を設定し、学園長を中心に小・中学校9年間の一貫した教育内容をつくりあげていくことです。

2点目として、学力向上や生徒指導の充実に向けて、各学園で小・中学校合同の研修会を開催し、小・中学校の教員が指導方法について共通理解を図ることです。

3点目として、各学園の推進組織を確立し、学園長の学園方針のもと、全職員が一枚岩になって、組織的に教育活動を進めることです。

ただ、現状のように小・中学校の施設が分離した学園のままでジョイント・スクールを進めていくことでは、すべての課題を解消するのは難しい状況にあります。こうした改善策が決してベストの策とはいえません。

例えば、小学校教員と中学校教員が共通理解を図るには、それぞれが集まる

必要があり、それにより教員の多忙化を加速することにつながってしまいます。また、児童生徒の交流についても各校で行事調整をすることが非常に煩雑なこととなります。

こうしたことから、将来的な展望としては、施設一体型の小・中学校を開設されることが望ましいのではないかと考えております。

ジョイント・スクール推進事業検証委員会報告の案については以上でございます。

(市長)

ありがとうございました。事業の成果と課題について報告いただきました。この事業は本市の総合戦略にも掲げている事業であり、この戦略に掲げる基本目標の1つとして次代を担う子供を育む学校教育・幼児教育の推進を図るための事業であり、今後の進捗また取り組みの発展を期待しておりますので引き続き取り組んでいただくようよろしくお願いいたします。

何か意見はありませんか。無いようですので本日の協議事項は以上となります。これにて協議を終了し、進行を事務局にお返しします。

(総務部長)

ありがとうございました。

それでは次第の「4その他」になりますが、委員の皆様から何かございますでしょうか。特に無いようでございますので以上をもちまして、平成29年度第1回富里市総合教育会議を閉会いたします。